

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 愛知製鋼株式会社（証券コード:5482）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A

### 格付事由

- トヨタグループの特殊鋼専門メーカー。自動車向けの特殊鋼条鋼や鍛造品が主力製品であるほか、磁石や磁気センサーなどの電磁品も手掛ける。トヨタ自動車の持分法適用関連会社（17/3 期末議決権比率 24.5%）であり、トヨタグループを中心とした強固な顧客基盤を有する。海外では鍛造品事業を中心に米国や東南アジア、中国などに展開している。
- トヨタグループを始めとした販売先との関係に変化はなく、国内の事業基盤は維持されている。また、中長期的には海外メーカーのキャッチアップが懸念されるものの、当面、当社の技術優位性が揺らく懸念は小さい。自動車向けを中心に特殊鋼需要が堅調に推移していることから、爆発事故の影響によって悪化した収益は回復しており、今後も安定して推移すると想定される。財務面では、積極的な設備投資を実施する中でも良好な財務構成を維持している。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 16年1月に発生した知多工場の爆発事故によって16/3期から17/3期にかけて収益が落ち込んだものの、18/3期経常利益は95億円（前期比38.4%増）と、15/3期とほぼ同水準まで回復する見通しである。原材料・エネルギーコストや減価償却費の増加が利益を下押しする一方、爆発事故の影響が解消することにより増益となる見通しである。当面は堅調な需要を背景に収益が落ち込む懸念は小さいとみられるが、中長期的には自動車の小型化やエコカーの普及に伴う特殊鋼需要の減退などへの対応が課題である。
- 17/3期以降設備投資額は大きく増加しているものの、18/3期第2四半期末の自己資本比率は56.1%（16/3期末55.3%）、DERは0.3倍（同0.3倍）と良好な水準を維持している。今後も国内拠点の設備更新や需要の拡大が見込まれる製品の増産対応などを目的に設備投資額は高水準で推移する見通しだが、安定した利益計上による自己資本の積み増しも見込まれることから、現状程度の財務健全性は維持していくと想定される。

（担当）水川 雅義・工藤 怜士

### 格付対象

発行体：愛知製鋼株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2016年12月16日	2021年12月16日	0.180%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	300億円	2016年11月5日から2年間	A

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年11月6日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：涛岡 由典  
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「鉄鋼」（2012年3月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 愛知製鋼株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル